

施策33 世界に誇れる都市としてふさわしい都心機能・交流機能を高めます

施策の柱

① 世界に誇れる都心のまちづくりの推進

リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅のスーパーターミナル化を推進し、高い機能性を有した新時代の交流拠点を創出するとともに、栄地区では、世界に誇れるシンボル空間を形成するなど、国際的・広域的な都市機能の強化や象徴的な都市空間の形成をはかります。

また、名古屋駅周辺・栄・金山地区などの都心においては、民間再開発等の機会を捉え、イノベーションの創出につながるビジネス交流機能や業務機能の集積を促進し、国際競争力を強化するとともに、国内外からの来訪者をもてなす商業・娯楽・芸術文化施設等の集積の促進や情緒あるまちなみの保全により、都心ならではの多様な魅力を向上させます。

② 中部国際空港の機能強化及び利用促進

国際的・広域的機能を強化するため、中部国際空港の二本目滑走路をはじめとする空港の機能強化及び航空路線の拡充に向けた取り組みを実施します。

③ 名古屋港の整備促進

中部圏のものづくり産業を物流面で支える「国際産業戦略港湾」の実現に向け、コンテナ物流機能をはじめとする港湾機能強化の取り組みを促進します。

④ 名古屋大都市圏を支える広域交通ネットワークの早期形成

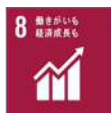
リニア中央新幹線の開業が予定されている名古屋駅や日本のゲートウェイである名古屋港・中部国際空港へのアクセスの向上により、名古屋大都市圏の発展を支えるため、名古屋環状2号線や名古屋高速道路をはじめとする高速道路ネットワークの早期形成と利便性の向上をはかります。

成果指標

指 標	直近の現状値	目標値 令和5(2023)年度	目標値 令和12(2030)年度
主要駅の乗客数	106万人／日 (平成29年度)	110万人／日 (令和4年度)	115万人／日 (令和11年度)
中部国際空港の国際線旅客便就航都市数	34都市	39都市	46都市
名古屋港の貿易額	17兆8,214億円 (平成30年)	18兆2,669億円 (令和5年)	18兆8,906億円 (令和12年)

関連する個別計画

- ◆都市計画マスタープラン ◆都心部まちづくりビジョン ◆名古屋駅周辺まちづくり構想
- ◆名古屋駅周辺交通基盤整備方針 ◆名古屋駅前広場の再整備プラン(中間とりまとめ)
- ◆市営交通事業経営計画2023 ◆栄地区グランドビジョン ◆金山駅周辺まちづくり構想 ◆観光戦略



現状と課題

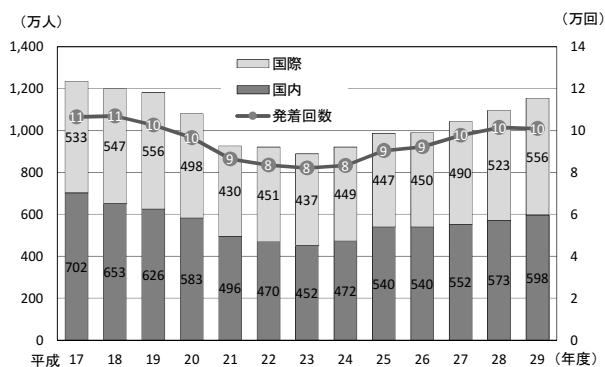
- ① **（現状）** リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅周辺地区から伏見地区へと続いている大規模な民間再開発の流れが、機能更新の時期を迎えた栄地区へと波及しつつあります。また、名古屋駅周辺に続き、栄ミナミや長者町界隈など、都心の各所において、本格的なエリアマネジメントの取り組みが始まるなど、地域関係者が中心となったまちづくりが活性化しています。

【課題】 リニア中央新幹線の全線開業により形成されるスーパー・メガリージョンの中心に位置する交流拠点として、ストロー現象などの影響を最小限に抑え、開業によるプラスの効果を最大限に活用する必要があります。そのため、圏域の成長をけん引する都心機能の強化や、民間投資の誘導など地域のまちづくりをより活性化する取り組みを行うとともに、リニア中央新幹線の速達性を最大限に活かす交通結節機能の強化をはかる必要があります。

- ② **（現状）** 平成 29（2017）年度の中部国際空港における航空旅客数は 1,153 万人、発着回数は 10 万回と、過去最高の水準に迫る数字を記録しました。

【課題】 国際拠点空港としてのさらなる発展をめざし、訪日外国人旅行者の増加への対応や地域の国際競争力向上に向け、空港機能の強化と需要拡大をはかる必要があります。

◇ 中部国際空港旅客数・発着回数の推移

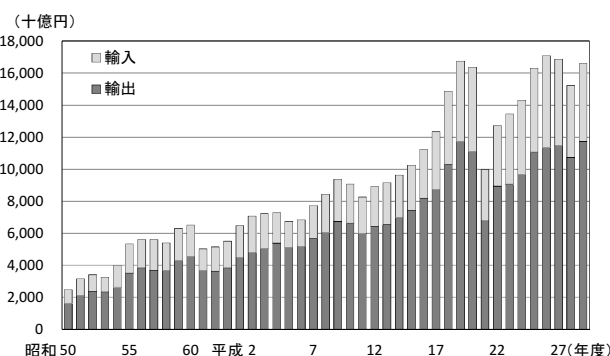


出典：中部国際空港株式会社「利用実績」

- ③ **（現状）** 名古屋港は、世界の約 160 の国や地域と貿易で結ばれており、平成 30（2018）年の港湾別の貿易額は国内第一位、貿易黒字額は 21 年連続国内第一位を記録するなど、日本のゲートウェイとして大きな役割を果たしています。

【課題】 地域の国際競争力向上に向け、引き続き、一層の港湾物流の機能強化を促進する必要があります。

◇ 名古屋港の貿易額の推移



出典：財務省「貿易統計」

- ④ **（現状）** 名古屋高速道路が全線開通し、現在は名古屋環状 2 号線など広域交通基盤の整備が進められています。

【課題】 名古屋大都市圏の中核都市として、圏域の国際競争力向上に向け、名古屋駅と、世界と名古屋を結ぶ窓口となる名古屋港・中部国際空港や市域外の拠点都市とのアクセスを支える道路ネットワークを形成し、国際的・広域的な拠点機能・交流機能を高めることが必要です。

施策を推進する事業

① 世界に誇れる都心のまちづくりの推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
379 リニア中央新幹線の整備促進	東京と大阪を結び新たな大動脈となるリニア中央新幹線の早期全線開業をはかるため、東海旅客鉄道株式会社が実施している品川－名古屋間のリニア中央新幹線の整備を促進	整備促進	整備促進	住宅 都市局
380 名古屋駅ターミナル機能の強化	リニア中央新幹線の開業により形成されるスーパー・メガリージョンの中心拠点にふさわしい交通機能と空間機能を兼ね備えたスーパーターミナルの実現のため、駅へのアクセス性の向上や交通結節機能の強化、ユニバーサルデザイン等に基づく空間形成を実施	設計・協議	設計・協議・整備推進	住宅 都市局 交通局
381 リニア駅周辺の面的整備	名古屋大都市圏の玄関口にふさわしい魅力や風格のある駅前空間を形成するため、リニア駅の上部空間を有効に活用するとともに、周辺の面的整備を実施	関係機関協議	関係機関協議・事業着手	住宅 都市局
382 名古屋駅周辺の地域資源をいかしたまちづくりの推進	リニア中央新幹線の開業に向け、名古屋駅周辺地区の魅力向上及び回遊性の強化等をはかるため、柳橋 ^{かいはい} 界隈等の地域資源をいかしたまちづくりを推進	魅力・回遊性向上等の調査	魅力・回遊性向上等の実施	住宅 都市局
383 ささしまライブ24地区・名駅南地区へのアクセス改善の推進	名古屋駅周辺の国際競争力の向上をはかるため、名古屋駅からささしまライブ24地区や名駅南地区へのにぎわい創出とあわせたアクセス改善を推進	関係機関協議、計画作成	整備推進	住宅 都市局
384 ささしまライブ24地区の整備	国際歓迎・交流拠点の形成をめざした官民連携によるまちづくりを推進するため、土地区画整理事業による道路・公園などの都市基盤整備や親水空間の整備を推進	整備中 ▶建物等移転 ▶都市計画道路・区画道路等 ▶公園・広場・親水空間	事業完了	住宅 都市局

385 都市計画道路 笹島線(東側区 間)の整備	名古屋駅周辺に集中する自動車交通に対応するため、自動車ネットワークを強化し、名駅通に集中する交通の分散をはかる笹島線(東側区間)の整備を推進	事業化検討	事業中	住宅 都市局
386 栄地区まちづ くりプロジェ クトの推進	都心部の核である栄地区において、多様な主体との連携のもと、にぎわいに満ちた空間づくりを進めるため、栄地区まちづくりプロジェクトを推進	久屋大通の再生 ▶北エリア・テレビ 塔エリア 事業中 ▶南エリア 整備内容の検討 オアシス 21 の高質 な維持管理 ▶バスターミナルの 集約化 ▶指定管理者制度を 活用した維持管理 公有地開発(栄角地 等)の推進 ▶事業化方策の検討 かいわい 界限性の充実 ▶エリアマネジメン トの一部実施	久屋大通の再生 ▶北エリア・テレビ 塔エリア 供用開始 (令和 2 年度) ▶南エリア 事業中 オアシス 21 の高質 な維持管理 ▶指定管理者制度を 活用した維持管理 公有地開発(栄角地 等)の推進 ▶事業中 かいわい 界限性の充実 ▶エリアマネジメン トの拡大	住宅 都市局
387 金山地区にお けるまちづく りの推進	金山駅周辺まちづくり構想の実現に向け、コンセプト、基本方針、土地利用構想に基づく施策を展開し、まちづくりを推進	地区整備計画の検討	地区整備計画の策定 公有地開発にかかる 民間事業者公募 事業着手	住宅 都市局
388 都心部におけ る魅力的まち づくりの推進	リニア時代にふさわしい圏域の中核としての都心部の形成のため、さまざまな地域の民間再開発の促進をはかるとともに、エリアマネジメントの推進など、多様な主体による地域資源を活かしたまちづくりを推進	「都心部まちづくり ビジョン」策定	「都心部まちづくり ビジョン」に基づく 取り組みの実施	住宅 都市局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
389 民間再開発の促進	リニア時代にふさわしい魅力にあふれた名古屋都心の形成をはかるため、都市再生特別地区などの活用や事業費補助の実施などにより、民間再開発を促進	錦二丁目7番地区 ▶ 工事中 東桜一丁目1番地区 ▶ 都市計画決定 栄四丁目1番地区 ▶ 都市計画提案 ノリタケの森地区 ▶ 都市計画決定 民間再開発の事業化促進	錦二丁目7番地区 ▶ 工事完了 東桜一丁目1番地区 ▶ 工事完了 栄四丁目1番地区 ▶ 工事完了 ノリタケの森地区 ▶ 工事完了 民間再開発の事業化促進	住宅 都市局

② 中部国際空港の機能強化及び利用促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
390 中部国際空港の機能強化及び利用促進	国際的・広域的機能を強化するため、中部国際空港の二本目滑走路をはじめとする空港の機能強化を推進しつつ、関係団体とともに空港の利用促進や航空会社へのエアポートセールスなど、航空路線の拡充に向けた取り組みを実施	二本目滑走路などの機能強化の推進 エアポートセールスの実施 航空路線を利用した渡航促進	二本目滑走路などの機能強化の推進 エアポートセールスの実施 航空路線を利用した渡航促進	総務局

③ 名古屋港の整備促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
391 名古屋港の整備促進	コンテナ貨物をはじめバルク貨物や完成自動車を取り扱う総合港湾である名古屋港において、物流機能の国際競争力を強化し、この地域の産業競争力を高めるため、国及び名古屋港管理組合が行う港湾整備を促進	新土砂処分場を含む港湾整備の促進	新土砂処分場を含む港湾整備の促進	住宅 都市局

④ 名古屋大都市圏を支える広域交通ネットワークの早期形成

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
392 名古屋高速道路の利便性の向上	名古屋高速道路のさらなる利便性の向上をはかるため、名古屋環状2号線西南部・南部の整備にあわせた連絡路の整備、高速道路出入口の追加・改良等による駅とのアクセス性の向上、環境への配慮を含めた適正な維持管理などを実施	名古屋西 JCT 内連絡路 ▶ 事業中 高速道路出入口の追加・改良等 ▶ 設計・協議	名古屋西 JCT 内連絡路 ▶ 供用開始 (令和2年度) 高速道路出入口の追加・改良等 ▶ 事業着手	住宅 都市局
393 名古屋環状2号線の整備促進	名古屋環状2号線が名古屋高速道路とともに名古屋大都市圏の道路網の骨格を形成し、環状道路として迂回機能を発揮するため、専用部 うかい (西南部・南部区間)と一般部4車線化の整備促進の要望活動と関係機関との調整を実施	整備促進	整備促進 ▶ 専用部(西南部・南部区間)の供用開始(令和2年度)	住宅 都市局

施策34 国際的に開かれたまちづくりを進めます

施策の柱

① 国際交流の推進

姉妹友好都市や各分野において提携する都市をはじめ、第20回アジア競技大会などを契機として諸外国との交流を推進するとともに、学生の留学・派遣を促進し、市民の国際感覚の醸成をはかります。

② 多文化共生の推進

外国人市民※への情報提供サービスの充実や、日本語学習機会の拡充、災害時の支援体制の確保とともに、日本人市民と外国人市民の交流と相互理解を促進し、日本人・外国人を問わずすべての市民が安心・安全に暮らすことができる多文化共生のまちづくりを推進します。また、外国人児童生徒に対し、日本語教育・相談の充実や円滑な就学の促進などをはかるとともに、日本の学校に早期に適応できるよう支援を行います。さらに、外国語や外国の文化にふれる機会を拡充するなど、互いの文化や考え方を尊重する気持ちを育成します。

③ 国際貢献の推進

外国人留学生の生活基盤整備や交流支援などを行い、誘致につなげます。また、JICA（国際協力機構）を通じた研修員の受け入れや技術指導・助言を行う職員の海外派遣などにより、国際貢献を推進します。

成果指標

指 標	直 近 の 現 状 値	目 標 値 令和 5（2023） 年 度	目 標 値 令和 12（2030） 年 度
地域で国籍の異なる人と交流がある 市民の割合	33.7%	40%	40%
外国人留学生数※	7,701 人	9,700 人	12,500 人

関連する個別計画

◆第2次多文化共生推進プラン ◆第3期教育振興基本計画

※外国人市民：名古屋市内に住所を有する外国籍の人のほか、日本国籍を取得した人や国際結婚によって生まれた子どもなど外国の文化を背景に持つ人など、外国にルーツを持つ人。

外国人留学生数：市内の高等教育機関（大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校（専門課程）・日本国内の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設）及び日本語教育機関に通う外国人留学生数をさす。出典は日本学生支援機構による。



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



現状と課題

- ①（現状）平成 29（2017）年 10 月に新たにフランスのランス市と姉妹都市提携を結び、本市は現在、6 都市からの使節団の受け入れや、ロサンゼルス交歓高校生の派遣・受け入れ、姉妹友好都市提携周年記念事業などを実施しています。

【課題】各姉妹友好都市の観光や経済を PR する機会を設けるほか、名古屋への来訪を促す取り組みなどを通じ、市民との交流の場を増やすことが必要です。

- ②（現状）名古屋大都市圏の中核都市として、企業や大学などの高等教育機関が多く集積する本市には多くの外国人市民が暮らしており、近年大幅に増加しています。今後は外国人労働者の受け入れ拡大に向けた法改正に伴い、外国人市民はさらなる増加が見込まれます。

【課題】すべての市民が互いの文化的差異を認め合い、安心・安全な生活を送ることができるよう、多文化共生意識の向上や、外国人市民の生活基盤の安定をはかることが重要です。

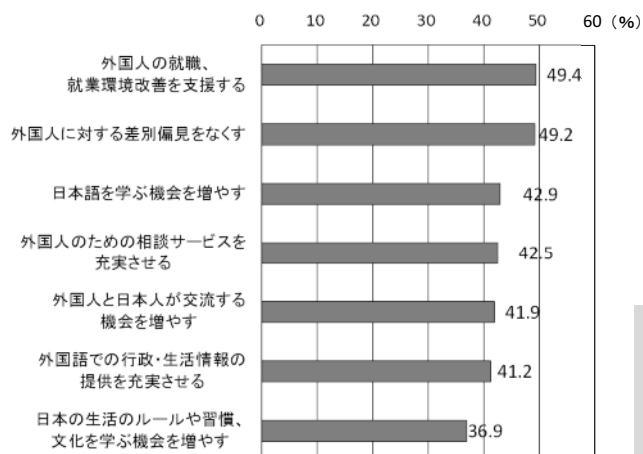
- ③（現状）外国人留学生向け宿舍の提供など生活面における支援をはじめ、開発途上国からの研修員受け入れや職員の海外派遣を通じた技術協力など、国際的な貢献活動を行っています。

【課題】留学生同士の交流を促進するとともに、日本で就職を希望する留学生の支援を行うほか、開発途上国の水問題解決に向けて技術協力を実施するなど、引き続き国際貢献を推進していくことが必要です。

◇ ランス姉妹都市提携調印式



◇ 外国人市民が暮らしやすい社会にするために必要なこと（上位 7 項目）



出典：外国人市民アンケート（平成 27 年）

◇ JICA を通じた国際協力活動



施策を推進する事業

① 国際交流の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
394 市立大学における学生・研究者の海外相互交流の推進	関係機関等と連携し、地域の国際化に貢献するため、留学生の積極的な受け入れや学生の派遣・留学の促進による国際感覚豊かな人材の育成と研究者の派遣・受け入れの促進	実施	実施	総務局
395 外国諸都市との交流推進	外国諸都市とのつながりを深め、市民の国際感覚の醸成をはかるため、幅広い交流を通じて両市民の相互理解と友好親善を促進する姉妹友好都市交流と、アジアを中心とした都市と分野を特定した交流を行うパートナー都市交流を推進	姉妹友好都市からの使節団受入実施 姉妹友好都市提携周年記念事業の実施 パートナー都市連携に関する指針の整理	姉妹友好都市からの使節団受入実施 姉妹友好都市提携周年記念事業の実施 パートナー都市と各分野において実益ある交流の実施	観光文化交流局

② 多文化共生の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
396 地域における情報の多言語化	外国人市民に必要な情報を伝えるため、多様な言語・手段による情報提供と、外国人市民が身近に相談できる環境を整備	多言語によるウェブサイトでの情報発信の実施 国際センター情報サービスコーナーの運営 名古屋転入ウェルカムキットの配布 テレビ電話通訳の実施 国際センターにおける各種相談事業の実施	多言語によるウェブサイトでの情報発信の実施 国際センター情報サービスコーナーの運営 名古屋転入ウェルカムキットの配布 テレビ電話通訳の実施 国際センターにおける各種相談事業の実施	観光文化交流局
397 地域社会に対する多文化共生の意識啓発	多文化共生に対する理解を促進するため、地域住民等に対する啓発事業を実施	多文化共生推進月間の実施 NIC 地球市民教室の運営	多文化共生推進月間の実施 NIC 地球市民教室の運営	観光文化交流局

398 外国人向け防災事業	災害時に外国人市民の安全を確保するため、日本の災害や防災についての情報を提供するとともに、災害語学ボランティア制度の管理運営やウェブサイト等を活用した多言語での情報提供を実施	外国人防災啓発事業の実施 災害時の外国人支援体制の確保	外国人防災啓発事業の実施 災害時の外国人支援体制の確保	観光文化交流局
399 日本語学習の支援	外国人市民が日常に必要な日本語を習得し、地域のコミュニティで円滑に生活できるよう、日本語学習機会の拡充を支援	NIC 日本語の会の運営	NIC 日本語の会の運営 地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業の実施	観光文化交流局
400 日本語指導が必要な児童生徒の支援	日本語指導が必要な児童生徒の早期の学校生活への適応をはかるため、小・中学校に日本語指導講師や母語学習協力員を、定時制高校に母語指導補助員を配置するとともに、日本語教育相談センターや初期日本語集中教室・日本語通級指導教室を運営	日本語指導講師の配置 ▶ 小学校 27 名 ▶ 中学校 4 名 母語学習協力員の配置 ▶ 小学校 30 名 ▶ 中学校 8 名 日本語教育相談センターの運営 初期日本語集中教室の運営 日本語通級指導教室の運営	日本語指導講師の配置 母語学習協力員の配置拡充 母語指導補助員の配置拡充 日本語教育相談センターの運営 初期日本語集中教室の運営 日本語通級指導教室の運営	教育委員会

③ 国際貢献の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
401 留学生の支援	留学生が安心して勉強に専念することができるよう支援するため、国際留学生会館の運営に対し補助するとともに、留学生の誘致につなげるため、ニーズを把握した上で本市に関する情報提供や学生同士の交流を促進	国際留学生会館の運営補助 なごや留学生フレンドシップ事業	国際留学生会館の運営補助 留学生の交流促進	観光文化交流局

都市像5 魅力と活力にあふれ、世界から人や企業をひきつける、開かれたまち

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
402 JICA を通じた 国際協力	開発途上国の水問題解決に寄与するため、JICA を通じて研修生を受け入れるとともに、技術指導・助言を行う職員を海外に派遣	実施	実施	上下 水道局

施策35 港・水辺の魅力向上をはかります

施策の柱

① 名古屋港の魅力向上に向けた拠点整備

名古屋大都市圏のものづくりを支える名古屋港では物流機能との調和をはかりつつ、市民や来訪者に親しまれる親水性の高い魅力とにぎわいのある拠点整備を進めます。

金城ふ頭では、国際展示場の再整備によるコンベンション機能の強化や民間によるアミューズメント施設の開業など魅力向上を一体的に進めるとともに、域内の回遊性を高め、広域からも来訪者が訪れるような新しい名古屋の名所づくりを進めます。

ガーデンふ頭では、水族館や親水性などを最大限活用しながら、ふ頭全体の再開発を進めることにより、隣接する地区のまちづくりとあわせて、港まちの魅力とにぎわいを生み出します。

② 堀川・中川運河の再生・活用

堀川では、市民団体との協働による水質浄化の取り組みなどにより、良好な水辺環境の形成をはかるとともに、オープンカフェやイベントを実施するなど、水辺空間を利活用することでにぎわいづくりを進め、魅力向上をはかります。

中川運河では、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導や、緑地・プロムナードの設置、水循環の促進による水質の改善などとともに、運河を舞台とする市民活動を通じた市民・企業等との連携により、うるおいや憩い、にぎわいをもたらす運河へと再生をはかります。また、堀川や名古屋港等と連携した水上交通の充実やネットワーク化をはかります。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
ガーデンふ頭、金城ふ頭の施設等来場者数の合計	747 万人	900 万人	1,100 万人
名古屋の港や臨海部が魅力的な空間であると感じる市民の割合	32.2%	50%	70%
中川運河の再生をサポートする人々（運河びと）の認定数	426 人	650 人	1,000 人

関連する個別計画

◆都市計画マスタープラン ◆築地ポートタウン計画 ◆中川運河再生計画 ◆堀川まちづくり構想

現状と課題

- ①（現状）金城ふ頭では、「レゴランド®・ジャパン・リゾート」や商業施設「メイカーズ ピア」が開業するなど、新たなにぎわい拠点の形成が進んでいます。ガーデンふ頭では、港らしさが感じられる空間づくりを推進しており、博物館「南極観測船ふじ」がリニューアルオープンしました。

【課題】金城ふ頭では、レゴランド®ジャパン・リゾートの拡張や国際展示場の再整備をはじめとする開発の着実な推進と駐車場運営の改善を進め、さらなるにぎわい創出と活性化をはかる必要があります。ガーデンふ頭では、ふ頭全体の再開発を進め、さらなるにぎわいを創出するための新たな魅力を創出していく必要があります。

- ②（現状）堀川をはじめとした河川等で、水辺空間の整備や水質の改善などに取り組んでいます。また、水辺空間を活用したイベントが行われるなど、市民が水に親しむ機会が増加しています。中川運河では、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導などを進めるとともに、水上交通定期運航・モニタリング調査として、ささしまライブ 24 地区とガーデンふ頭、金城ふ頭を結ぶ「クルーズ名古屋」の運航を行いました。

【課題】堀川では、水質の浄化など水辺環境のさらなる改善や、周辺まちづくりとの連携などによるにぎわい創出が必要となっています。中川運河では、ものづくりの発展を下支えしてきた歴史的役割を尊重しながら、交流・創造の場の創出、良好な水環境の創出などの取り組みにより再生をはかっていく必要があります。また、堀川や中川運河、名古屋港等が連携した水上交通を活性化する必要があります。

◇ 金城ふ頭



◇ ガーデンふ頭



◇ 堀川（堀川フラワーフェスティバル）



◇ 中川運河（キャナルアート）



施策を推進する事業

① 名古屋港の魅力向上に向けた拠点整備

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
403 金城ふ頭開発の推進	世界の技術・情報・人々が交流する拠点の形成をめざすため、国際交流拠点として国際展示場の再整備によるコンベンション機能の強化、アミューズメント施設など都市機能の誘導を一体的に進めるなど、金城ふ頭開発を推進	国際展示場歩行者デッキの整備検討 レゴランド®・ジャパン・リゾート拡張調整 開発用地の公募準備	国際展示場歩行者デッキ供用開始（令和4年度） レゴランド®・ジャパン・リゾート拡張調整 公募事業者による施設開発	住宅 都市局
404 ガーデンふ頭の再開発の推進	既存施設を活かしながらかーデンふ頭全体の再開発を進めるため、名古屋港管理組合とともに、隣接地域と一体となった港らしさが感じられるまちづくりを推進	「築地ポートタウン計画」の推進 「ガーデンふ頭再開発基本計画」の促進	「築地ポートタウン計画」の推進 「ガーデンふ頭再開発基本計画」の促進	住宅 都市局

② 堀川・中川運河の再生・活用

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
405 うるおいと活気のある堀川再生	水辺空間に親しむ機会を増やすため、民産学官の協働により、河川空間を活用することでにぎわいづくりを進めるとともに、水質浄化を進め良好な水辺環境の形成を推進	河川空間を活用したイベントの開催日数 117日 堀川における水質の環境目標値の達成率（BOD※） 62.5%（平成29年度）	河川空間を活用したイベントの開催日数 130日 堀川における水質の環境目標値の達成率（BOD） 100%	緑政 土木局

※BOD：Biochemical Oxygen Demand の略。生物化学的酸素要求量。水中の有機汚濁物質を分解するために微生物が必要とする酸素量で、河川の汚濁を表す代表的な指標。この数値が大きいほど、水質が汚濁していることを意味する。

406 中川運河の再生	うるおいや憩い、にぎわいをもたらす中川運河へと再生をはかるため、沿岸用地へのにぎわい施設の誘導、堀止における緑地の整備、水質の改善、災害に対する防災機能の強化、市民活動への支援などにより、中川運河の再生を推進	にぎわい施設の誘導 堀止緑地の整備 水質改善の検討・実施 市民活動への支援 にぎわい創生プロジェクトの推進	にぎわい施設の誘導 堀止緑地の整備完了 水質改善の検討・実施 市民活動への支援 にぎわい創生プロジェクトの推進	住宅 都市局
407 水上交通の活性化	熱田、名古屋城やささしまライブ 24 地区などの歴史資産や拠点をめぐる新たな水上交通網の実現と、熱田と桑名を結ぶ旧東海道唯一の海路である七里の渡しの復活をはかるため、中川運河、堀川と名古屋港などを連絡する水上交通の運航を推進	中川運河 ▶ 定期運航モニタリング 堀川 ▶ 運航拡充に向けた検討等 ▶ 基礎調査等	中川運河 ▶ 民間による運航 堀川 ▶ 運航拡充 ▶ 沿川資源の活用方策の検討・推進	住宅 都市局

施策36 魅力的な都市景観の形成を進めます

施策の柱

① 良好な景観形成の誘導

名古屋のまちをさらに美しく魅力あふれた快適な都市に育てていくため、名古屋城眺望景観保全などの景観法に基づく届け出等において助言指導を行うとともに、景観アドバイザー制度、市長表彰など多面的な取り組みにより、魅力的な都市景観の形成を進めます。

② 地域の特色を活かした景観まちづくりの推進

市民が名古屋のまちの景観的魅力について誇りと愛着を持って語ることができるよう、市民との協働のもと情報の共有化・発信を進めて興味関心を高めるとともに、地域における景観まちづくりの取り組みを推進します。

③ 違反広告物対策の推進と安全対策の強化

屋外広告業者の指導などを通じた広告物の適正な設置や管理を促すとともに、市民や地域とも連携しながら違反広告物の簡易除却や是正指導、安全点検に取り組みます。

成果指標

指 標	直 近 の 現 状 値	目 標 値 令和 5 (2023) 年 度	目 標 値 令和 12 (2030) 年 度
名古屋の中で好きなまちの風景がある市民の割合	65.3%	70%	75%
市民参加によって景観づくりを進めている地区数（累計）	11 地区	12 地区	13 地区
違反広告物追放推進団体による簡易除却の実施回数	339 回	260 回以下	260 回以下

関連する個別計画

◆都市計画マスタープラン ◆都市景観基本計画 ◆景観計画



現状と課題

- ①（現状）景観計画を策定し、名古屋城の眺望景観保全に取り組むなど都市景観の創造・保全に関する各種施策を実施しています。特に良好な景観の形成を進める地区を都市景観形成地区として、平成 31（2019）年 4 月現在、8 地区指定しています。

【課題】活気があり歴史の深みを感じられる景観形成の取り組みを進める必要があります。

◇ 四間道都市景観形成地区



- ②（現状）すぐれた都市景観の形成に寄与している建築物等の表彰と景観に関する市民意識の高揚をはかることを目的に、まちなみデザインセレクションを実施しています。

【課題】地域の特色を活かした景観形成を市民との協働のもと進めるとともに、市民が名古屋のまちの景観的魅力について誇りと愛着を持つことができるよう、関心を高めていく必要があります。

◇ 山崎川の桜（まちなみデザイン 20 選）



- ③（現状）屋外広告業の登録や違反広告物の簡易除却など広告物の不適正な設置や管理の防止につとめるとともに、安全点検の義務化など広告物の安全対策の強化につとめています。

【課題】違反広告物の除却件数は減少傾向にありますが、除却対象とならないものについて適切な是正指導を行うとともに、安全点検を確実に実施する必要があります。

◇ 違反広告物追放推進団体による除却活動



施策を推進する事業

① 良好な景観形成の誘導

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
408 景観重要建造物、都市景観重要建築物等の指定及び助成	歴史的または文化的な価値を有するものや、地域のランドマークあるいはシンボルとして良好な景観の形成に重要な建築物等について、景観重要建造物や都市景観重要建築物等として指定し、保存活用をはかるとともに助成事業を実施	景観重要建造物等 ▶ 指定 62 件 助成事業の実施	指定の継続 助成事業の実施	観光文化交流局
409 景観法に基づく届出制度	良好な景観形成を誘導するため、大規模建築物・工作物のほか、都市景観形成地区内での建築物の新築等について、景観形成基準への適合の確認、助言指導を実施するとともに、景観アドバイザーによる助言指導を実施	実施 ▶ 届出 227 件	実施	住宅都市局
410 景観アドバイザー制度	良好な景観形成を誘導するため、建築物・工作物担当、広告物担当の各アドバイザーが、原則一週間に一度、相談日を設けて、市民・事業者と直接、助言指導を実施	実施 ▶ 相談 400 件	実施	住宅都市局

② 地域の特色を活かした景観まちづくりの推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
411 地域の特色を活かした景観まちづくりの推進	地域の特色を活かした景観まちづくりのため、都市景観形成地区の基準に合った景観形成を誘導することや、景観づくり等を地域とともに推進するとともに、公共空間等における屋外広告物の活用を推進	実施	実施	住宅都市局
412 景観に関する市民意識の啓発	景観に関する市民意識を啓発するため、魅力的な風景やまちなみを市民とともに発掘、発信、共有するまちなみデザインセレクションなどの市民参加型の啓発事業や、名古屋の個性的な景観についての PR を実施	まちなみデザインセレクションの実施	まちなみデザインセレクションの実施 名古屋の景観についての PR の実施	住宅都市局

413 都市景観助成 制度	良好な景観形成を支援するため、都市景観形成地区内で景観形成に寄与する行為、都市景観市民団体の活動等に関して助成金を交付	実施	実施	住宅 都市局
---------------------	---	----	----	-----------

③ 違反広告物対策の推進と安全対策の強化

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
414 屋外広告物の 表示許可	良好な景観の形成や風致を維持するため、屋外広告物の表示許可を実施	実施 ▶ 表示許可 11,169 件	実施	住宅 都市局
415 屋外広告業の 登録	不良業者を排除し、良質な業者を育成することにより、違反広告物が表示されない体制を構築するため、屋外広告業の登録を実施	実施 ▶ 新規登録・更新 149 件	実施	住宅 都市局
416 違反広告物追 放推進団体・推 進員制度	市民と行政が一体となって良好な都市景観の維持・向上をはかるため、路上の違反広告物の除却活動をする違反広告物追放推進団体・推進員制度を実施	実施 ▶ 簡易除却 339 回	実施	住宅 都市局

施策37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

施策の柱

① 名古屋城など歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり

本市の魅力資源の象徴である名古屋城については、天守閣木造復元などの整備を進め、特別史跡としての価値の継承と魅力向上をはかります。また、武家文化や文化のみち、有松をはじめとした市内の歴史的建造物や町並み、文化財、人々の伝統的な営みの保存・活用などにより、名古屋の歴史・文化を身近に感じられるまちづくりを進めます。

② 文化芸術を活かしたまちづくりの推進

市民一人ひとりが気軽に文化芸術にふれ、創造性を高めることができるよう、未来を担う若手の育成や、市民会館をはじめとする文化施設の改修・整備など、将来を見据えた文化への投資を行い、文化芸術を活かしたまちづくりを進めます。

③ 市民による魅力発信の促進

名古屋の魅力資源に関する情報を市民へ発信し、市民のまちに対する誇りや愛着（シビックプライド）を醸成・高揚させることで、市民による自発的な市内外への発信を促します。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5（2023） 年度	目標値 令和12（2030） 年度
満足した名古屋の観光資源として、歴史的な施設と答えた観光客※の割合	69.6% （平成29年）	80% （令和5年）	86% （令和12年）
市の文化施設の利用率	92.1%	90%以上	90%以上
名古屋独自の魅力や文化で自信を持って紹介できるものがある市民の割合	59.8%	78%	82%

関連する個別計画

- ◆名古屋魅力向上・発信戦略 ◆観光戦略 ◆歴史まちづくり戦略 ◆歴史的風致維持向上計画
- ◆特別史跡名古屋城跡保存活用計画 ◆第3期教育振興基本計画 ◆歴史文化基本構想
- ◆文化振興計画

※観光客：本指標における観光客は、名古屋城または熱田神宮を訪れた人を対象としている。

現状と課題

- ①（現状）長い歴史を積み重ねながら発展してきた名古屋のまちには、古くから伝わる貴重な歴史資源が数多く残されています。

【課題】文化財をはじめ市内に残されている多くの歴史的資源を活用し、名古屋独自の魅力として市民や観光客へ発信し、誘客へつなげていく必要があります。

◇ 指定・登録文化財件数

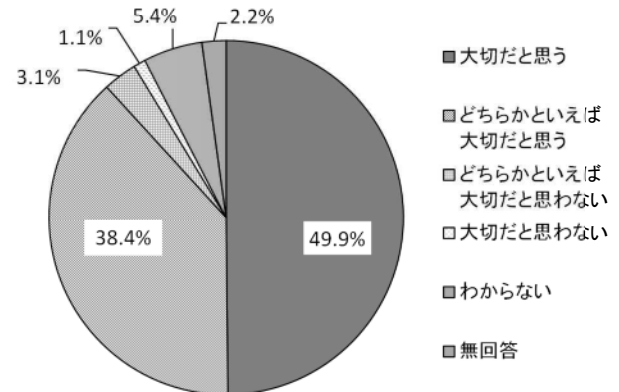
区分	国指定	県指定	市指定	合計
有形文化財	135	106	62	303
無形文化財	0	0	2	2
民俗文化財	0	2	51	53
記念物	8	0	9	17
重要伝統的建造物群 保存地区	1	—	—	1
合計	144	108	124	376
国登録文化財	101	—	—	101

出典：名古屋市作成

- ②（現状）文化や芸術にふれることについて大切だと思う市民の割合は 9 割近くに達しています。しかしながら、文化の創造発信の拠点であり市民の文化活動の場でもある文化施設は、昭和 47（1972）年に開館した市民会館をはじめとして、多くが老朽化しています。

【課題】今後も身近で文化芸術にふれる機会を市民へ提供するとともに、文化施設を地域の発展を支える交流の場とすることで、まちづくりの核としての役割を果たせるようにしていく必要があります。

◇ 文化や芸術にふれることを大切だと思う市民の割合

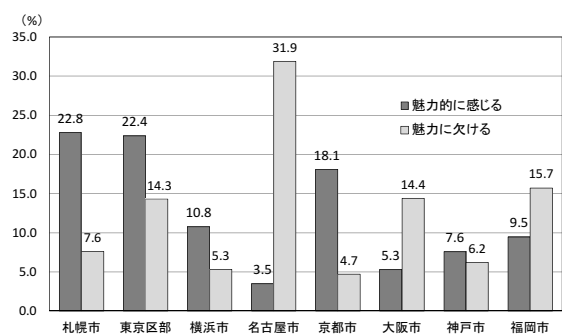


出典：市政アンケート（平成 27 年度）

- ③（現状）平成 28（2016）年度の調査に続き、平成 30（2018）年度の「都市ブランド・イメージ調査」においても、名古屋は全国 8 都市で最も魅力に欠けるまちで、都市イメージが確立されていないという結果が示されました。

【課題】名古屋の魅力を磨き上げ、都市としてのブランド力を高めることで、市民一人ひとりが名古屋独自の魅力に愛着や誇りを持てるようにすることが必要です。

◇ 「最も魅力的に感じる都市」「最も魅力に欠ける都市」に選ばれた割合



出典：名古屋市「都市ブランド・イメージ調査」（平成 30 年度）

施策を推進する事業

① 名古屋城など歴史的資産を活用した名古屋独自の魅力づくり

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
417 名古屋城の整備	名古屋城の本質的価値の理解を促進するため、戦災により焼失した天守閣を史実に忠実に木造復元するほか、石垣の保存整備、二之丸庭園の保存整備等を実施	天守閣 ▶ 実施設計 ▶ 木材の製材 石垣 ▶ 修復工事 ▶ 発掘調査・測量 二之丸庭園 ▶ 発掘調査・測量 ▶ 保存整備工事 二之丸地区 ▶ 整備基本調査 展示収蔵施設 ▶ 建築工事	天守閣 ▶ 竣工(令和4年度) 石垣 ▶ 修復工事 ▶ 発掘調査・測量 二之丸庭園 ▶ 発掘調査・測量 ▶ 保存整備工事 二之丸地区 ▶ 基本構想の策定・推進 展示収蔵施設 ▶ 供用開始(令和2年度)	観光文化交流局
418 名古屋城の調査研究	特別史跡名古屋城跡の価値を明らかにするとともに、適切な保存活用を行い次世代に継承していくため、調査研究センターを新設し、特別史跡名古屋城跡が有する文化財や資料等に関する学術的・総合的な調査研究を実施	他都市事例調査	調査研究センターの新設(令和元年度) 調査研究の実施	観光文化交流局
419 名古屋城の魅力向上事業	名古屋城の魅力向上や誘客をはかるため、夜間のイベント等の開催時の開園時間の延長や、民間事業者のノウハウを活用した多彩なイベントの開催などを実施	民間事業者と連携したイベント等の実施	民間事業者と連携したイベント等の実施	観光文化交流局
420 金シャチ横丁構想の推進	名古屋の近世武家文化のシンボルである名古屋城及びその周辺の魅力を一層向上させるとともに、国内外からの来訪者に対して名古屋の魅力を発信するため、金シャチ横丁構想を推進	第二期整備計画の策定	第二期整備計画の推進	観光文化交流局

421 名古屋城を核とした魅力向上の推進	名古屋城を起点とした、有松・桶狭間 ^{おけはざま} までの「歴史・文化魅力軸」と、名古屋港地区までの「まちづくり・ものづくり魅力軸」という2つの魅力軸における回遊性の向上をはかるため、軸上の各エリアと名古屋城を結ぶマップの作成やイベント等を行い、魅力を創出・発信	実施	実施	観光文化交流局
422 名古屋まつりの開催	まつりを通じて、名古屋の伝統、文化、魅力にふれてもらうため、郷土英傑行列をはじめとした行列行事・会場行事を実施	実施 ▶ 来場者数 2,210,159 人	実施 ▶ 65 周年事業 (令和元年度)	観光文化交流局
423 歴史的建造物群保存地区保存事業の推進	歴史的な町並みの維持向上をはかるため、伝統的建造物群保存地区に指定している有松地区において、現状変更行為の許可や伝統的建造物の修理等に対する補助等を実施	規制及び補助の実施 ▶ 補助件数 5 件（累計） 防災計画の検討	規制及び補助の実施 ▶ 補助件数 25 件（累計） 防災計画の策定・推進	観光文化交流局
424 町並み保存事業の推進	市内に残る歴史的な町並みを保存するため、町並み保存地区において、指導・助言及び補助を実施	指導・助言及び補助の実施 ▶ 補助件数 407 件（累計）	指導・助言及び補助の実施 ▶ 補助件数 442 件（累計）	観光文化交流局
425 歴史的建造物の保存活用の推進	身近な歴史的建造物の保存活用を推進するため、身近な歴史的建造物の登録・認定制度の運用や、歴史的資産を活かしたまちづくりへの啓発活動、経済的支援及びなごや歴まちびとによる技術的支援を実施	実施 ▶ 登録・認定制度の運用 264 件（累計）	実施 ▶ 登録・認定制度の運用 300 件（累計）	観光文化交流局
426 歴史まちづくり事業の推進	「歴史・文化魅力軸」上に位置づけられている東海道や核となる熱田・有松などの歴史・文化の魅力を向上・発信するため、啓発事業や、拠点となる公開施設の整備を実施	実施 ▶ 熱田魚問屋モニタリングの整備 ▶ まち歩きコースの提供などスマートフォンによる情報発信	実施 ▶ 歴史的建造物の公開活用及び歴史的資源の活用による情報発信 ▶ まち歩きコースの提供などスマートフォンによる情報発信	観光文化交流局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
427 文化のまちの推進	名古屋の近代化の歩みを伝える歴史的な遺産の宝庫である「文化のまち」の魅力を向上・情報発信するため、歴史的建造物の保存や歴史的建造物を活用したイベントなどを実施	文化のまちの施設(4施設)の活用・管理 文化のまちにおけるイベントの実施	文化のまちの施設(4施設)の活用・管理 文化のまちにおけるイベントの実施	観光文化交流局
428 伊藤家住宅の保存・活用	四間道町並み保存地区の中心となる愛知県指定有形文化財の伊藤家住宅について、地域の共有財産として保存・活用を推進	建物調査の実施 活用検討調査の実施	保存・活用の推進	観光文化交流局
429 揚輝荘の保存・活用	城山・覚王山地区のまちづくりの交流拠点施設として活用するため、市民共有の歴史・文化遺産である揚輝荘の修復整備を実施	南園 ▶ 聴松閣の公開 北園 ▶ 北園の暫定公開 ▶ 伴華楼等の修復整備方針の検討	南園 ▶ 聴松閣の公開 北園 ▶ 北園の暫定公開 ▶ 伴華楼等の修復整備の推進	観光文化交流局
430 熱田神宮駅前地区におけるまちづくりの推進	熱田神宮駅前地区の活性化のため、熱田区役所南未利用地の有効活用をはかるとともに地域と連携した当地区のまちづくりを推進	未利用地活用のあり方検討 まちづくり協議会の設立・活動支援	未利用地暫定活用の推進 未利用地活用事業化検討	住宅都市局
431 博物館、秀吉清正記念館の運営	歴史・文化に対する興味・関心を深め、市民に名古屋独自の魅力を伝える機会を提供するため、博物館及び秀吉清正記念館において、常設展・特別展等を実施	常設展・特別展等の開催 31回 教育普及事業の実施 16回 資料の調査・収集等 ▶ 猿猴庵※の本 1冊刊行	常設展・特別展等の開催 教育普及事業の実施 資料の調査・収集等 ▶ 猿猴庵※の本 年1冊刊行	教育委員会

※猿猴庵：高力猿猴庵(こうりきえんこうあん) (1756～1831 年)。本名は種信(たねのぶ)といい、知行 300 石の中級クラスの尾張藩士で、名古屋城下の風俗や事件を取材した記録絵本を多数残した文筆家兼画家。

432 博物館の魅力向上	博物館が市民のニーズに応えこれからの魅力的な施設であり続けるための基本構想を策定し、構想に基づき博物館の整備を推進するとともに、秀吉清正記念館の展示内容の充実等について検討を実施	検討	整備推進	教育委員会
433 秀吉研究の推進	名古屋出身の武将豊臣秀吉の学術研究を促進するとともに、市民の郷土愛の定着に資するため、博物館と秀吉清正記念館において、豊臣秀吉文書集を刊行	刊行 第 1～第 5（累計）	刊行 全 9 巻	教育委員会
434 蓬左文庫の運営	尾張徳川家の伝来品により、近世武家文化※の魅力の世界に向けて発信するため、徳川美術館と連携した展示や、研究者との連携による蔵書の調査・研究、学術情報の発信を実施するとともに、徳川園や建中寺などの近隣施設と連携し地域魅力の発信を推進	徳川美術館との連携による展示会の開催 6 回 名古屋叢書※第 4 編 - 1 の出版 講演会等の実施 3 回	徳川美術館との連携による展示会の開催 名古屋叢書第 4 編 - 2～3 の出版 講演会等の実施	教育委員会
435 歴史の里しだみ古墳群の運営	古墳時代の営みなどの歴史学習と自然体験を通じて、子どもから大人まで楽しみながら歴史を学ぶことができるよう、守山区上志段味地区に残る古墳群を活用した「歴史の里しだみ古墳群」を運営	「歴史の里しだみ古墳群」の工事完了	開業（令和元年度） 体験プログラム・講演会・古墳ガイドツアー等の実施 埋蔵文化財発掘調査 国指定史跡志段味古墳群の追加指定に向けた整備検討	教育委員会

※近世武家文化：近世は江戸時代を示す時代区分で、武家文化は、公家文化・町人文化に対する用語。蓬左文庫においては、尾張徳川家で育まれた武家の文化（作法・学問・武芸・教養など）を対象としている。

名古屋叢書：江戸時代の名古屋・尾張藩を知るための歴史資料を活字化して出版した資料集。戦前から計画が進み、名古屋市制 70 周年事業として出版を開始。蓬左文庫が昭和 34（1959）年から平成 2（1990）年までに 69 冊を刊行、200 を超える書物を活字化したもので、名古屋研究の共通基礎資料となっている。

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
436 山車行事継承 の支援	山車を使った祭を後世に継承するため、山車の保存・修理等や後継者育成事業に対する補助等による支援の実施	山車の保存・修理等 に対する補助の実施 16件 後継者育成事業に対 する補助の実施 2件 山車修繕等に対する 指導 指定文化財山車調査 の実施	山車の保存・修理等 に対する補助の実施 後継者育成事業に対 する補助の実施 山車修繕等に対する 指導 指定文化財山車調査 の実施	教育 委員会
437 文化財活用事業	文化財の活用により本市の魅力向上をはかるため、名古屋城や熱田神宮、志段味古墳群などの名古屋を代表する文化財のさらなる活用を進めるとともに、旧町名や地割跡、神社仏閣の由来など身近なまちの文化財の価値を明らかにしていくなどの取り組みを推進	文化財活用講座・イ ベントの実施 地域文化財の情報発信 埋蔵文化財の活用	文化財活用講座・イ ベントの実施 地域文化財の情報発信 埋蔵文化財の活用 市内の文化財の保存 及び活用に関する総 合的な計画の策定	教育 委員会
438 文化財保護事業	名古屋に残る歴史的資産を後世に継承していくため、文化財の指定や文化財保存修理事業等への補助金交付、埋蔵文化財の発掘調査等を実施	文化財の指定に関す る文化財調査委員会 での調査 保存修理事業等への 補助 15件 埋蔵文化財の発掘調査 4件	文化財の指定に関す る文化財調査委員会 での調査 保存修理事業等への 補助 埋蔵文化財の発掘調査	教育 委員会

② 文化芸術を^い活かしたまちづくりの推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
439 文化芸術活動 の支援・活用	文化芸術がまちなかに広がることで、都市の魅力向上や地域活性化をはかるため、芸術家等の創造活動を支援・活用する事業を実施	やっとかめ文化祭の実施 ▶ 伝統芸能の公演 ▶ まちなか披露等 アッセンブリッジ・ナゴヤの実施 ▶ 名古屋港周辺エリアにおける空き家を活用した展覧会やまちなかを会場とした演奏会等 新たな文化施策推進体制の検討	やっとかめ文化祭の実施 ▶ 伝統芸能の公演 ▶ まちなか披露等 アッセンブリッジ・ナゴヤの実施 (令和2年度まで) ▶ 名古屋港周辺エリアにおける空き家を活用した展覧会やまちなかを会場とした演奏会等 新たな文化施策推進体制の検討・実施 名古屋独自の文化をまとめた冊子「芸どころ名古屋」の作成・活用	観光文化交流局
440 名古屋フィル ハーモニー交 響楽団の活動 支援	交響管弦楽による音楽芸術の普及向上をはかり、文化の発展に寄与するため、名古屋フィルハーモニー交響楽団による演奏活動を支援	演奏事業 年間 106 回 まちかどコンサート 年間 20 回 魅力向上事業 ▶ 中高生への演奏指導 ▶ 東京公演 ▶ 海外公演の検討	演奏事業 年間 110 回 まちかどコンサート 年間 23 回 魅力向上事業 ▶ 中高生への演奏指導 ▶ 東京公演 ▶ 海外公演	観光文化交流局
441 あいちトリエン ナーレの開催	愛知・名古屋から新たな文化芸術を発信し、地域の文化芸術の活性化と魅力向上をはかるため、現代美術の国際展「あいちトリエンナーレ」を3年ごとに開催	あいちトリエンナーレ 2019 の開催準備	あいちトリエンナーレ 2019 の開催 (令和元年度) あいちトリエンナーレ 2022 の開催 (令和4年度)	観光文化交流局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
442 ユネスコ・デザイン都市なごやの推進	「ユネスコ・デザイン都市なごや」 としての魅力を一層向上させるとともに、国内外に向けて広く発信するため、創造都市ネットワークを活用した他都市との交流事業や、若手の人材育成等を実施	交流・PR 事業 人材育成事業 デザイン啓発事業	交流・PR 事業 人材育成事業 デザイン啓発事業	観光文化交流局
443 文化施設の運営・整備	市民文化の振興をはかるため、公会堂、市民会館、文化小劇場等の文化施設を運営するとともに、市民会館をはじめとする文化施設の役割を整理した上で、市民会館の整備を実施	文化施設の運営 文化施設のあり方検討	文化施設の運営 新たな市民会館の整備推進	観光文化交流局
444 美術館の運営	市民が質の高い美術文化に接することのできる機会を提供し、美術文化の継承発展をはかるため、優れた美術品を市民の財産として収集し、適切に保存・公開するとともに、国内外の優れた美術品を紹介する展覧会や教育普及事業等を実施	常設展・特別展等の開催 11 回 教育普及事業 221 件 資料の調査・収集・修復等	常設展・特別展等の開催 教育普及事業 200 件 資料の調査・収集・修復等	教育委員会

③ 市民による魅力発信の促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
445 シビックプライド醸成に向けたプロモーションの推進	低迷する市民推奨度を向上させるため、名古屋駅周辺や名古屋城・文化のみちなど本市の魅力資源が集積するエリアを題材とした、誇りや愛着につながる情報を市民に効果的に発信するプロモーションを実施	実施 ▶ プロモーションツール（ポスター・パンフレット等）の制作 ▶ イベントを活用した魅力発信 ▶ 名古屋応援会議の開催 ▶ 魅力資源の発掘・活用にかかる調査研究 ▶ 名古屋子ども王位戦の開催	実施	観光文化交流局

施策 37 歴史・文化芸術に根ざした魅力向上をはかるとともに、市民による魅力発信を促進します

施策38 観光の振興・MICEの推進と情報発信により交流を促進します

施策の柱

① 名古屋が誇る魅力資源の磨き上げと観光情報の発信

市内各地に豊富に存在する武将ゆかりの歴史・文化芸術や、なごやめし・ポップカルチャーをはじめとした名古屋の特色や魅力を向上させるとともに、積極的な情報発信につとめます。また、周辺の観光地や旅行会社など民間事業者とも連携し観光プロモーションを行うことで、多くの観光客が訪れる活気あふれる都市をめざします。

② 受入環境の整備と海外からの誘客促進

国内外からの来訪者が楽しく快適に過ごせるよう、民間事業者と連携した観光情報の提供や観光案内の機能強化、情報の多言語化、観光施設等のトイレの洋式化など、受入環境の整備に取り組むとともに、海外からの観光客誘致に向けたプロモーションを実施します。

③ MICEの推進による多様な交流の促進

ものづくり産業の集積をはじめとする当地域の特色を活かし、プロモーションの強化や支援制度の充実などによる全国的・国際的なMICE※の誘致や、その基幹インフラとなる国際展示場・国際会議場の整備・運営に取り組むことにより、国内外の交流を促進します。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
観光総消費額	3,501 億円 (平成29年)	6,000 億円 (令和5年)	1 兆円 (令和12年)
観光客の満足度	78.2% (平成29年)	90% (令和5年)	90%以上 (令和12年)
外国人宿泊者数	165 万人 (平成29年)	370 万人 (令和5年)	520 万人 (令和12年)
国際会議の年間開催件数	183 件 (平成29年)	248 件 (令和4年)	305 件 (令和11年)

関連する個別計画

- ◆名古屋魅力向上・発信戦略 ◆観光戦略 ◆東山動植物園再生プラン新基本計画
- ◆第3期教育振興基本計画 ◆市営交通事業経営計画2023

※MICE（マイス）：企業等の会議（Meeting）、企業等の行う報奨・研修旅行（インセンティブ旅行）（Incentive Travel）、国際機関・団体、学会等が行う国際会議（Convention）、展示会・見本市、イベント（Exhibition/Event）の頭文字。多くの集客交流が見込まれるビジネスイベントなどの総称。



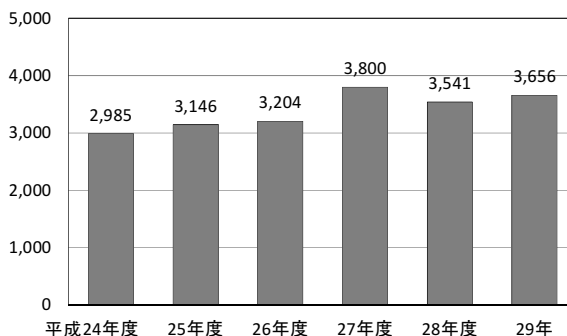
現状と課題

- ① **（現状）** 近年、本市を訪れる観光客数はゆるやかな増加傾向にありますが、観光総消費額は伸び悩んでいます。

【課題】 交流人口の拡大や地域経済の活性化をはかるためには、幅広い経済波及効果をもたらす観光を重要な産業の一つと捉え、観光コンテンツの創造・発掘・磨き上げを進めるとともに、本市ならではの魅力や強みをターゲットごとにわかりやすく伝える戦略的な PR に取り組む必要があります。

◇ 観光総消費額の推移

(億円)

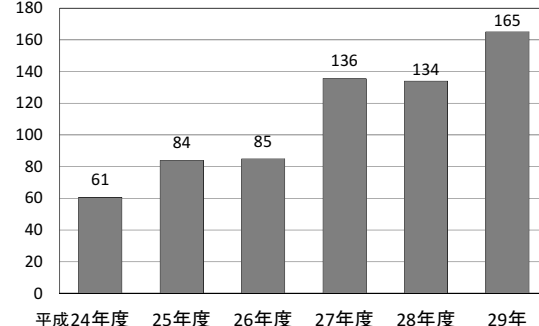


※平成29年調査より、調査対象期間を年度から暦年に変更
出典：名古屋市「観光客・宿泊客動向調査」

- ② **（現状）** 本市を訪れる外国人は増加傾向にあり、平成29(2017)年の外国人延べ宿泊者数は約165万人となっています。愛知県内の競技場で一部の試合が行われる令和元(2019)年のラグビーワールドカップ2019をはじめ、令和2(2020)年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会などを契機として、本市においてもインバウンドのさらなる増加が期待されます。

◇ 訪日外国人宿泊者数の推移

(万人)



※平成29年調査より、調査対象期間を年度から暦年に変更
出典：名古屋市「観光客・宿泊客動向調査」

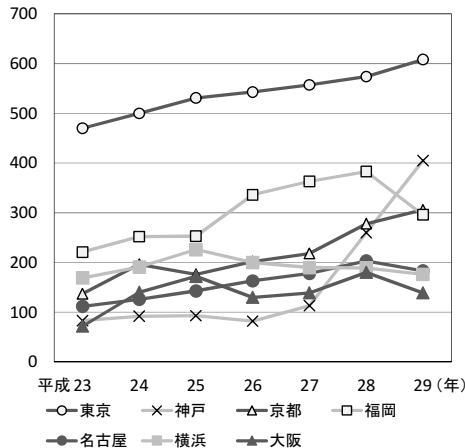
【課題】 インバウンドの促進に向けた取り組みのほか、国内外からの観光客のさらなる増加に向け、多様なニーズに対応したきめ細かいおもてなしを行うことが必要です。

- ③ **（現状）** MICE は企業活動や研究・学会活動による交流や経済活動など高い付加価値を有していることから、近年その重要性が認知され、MICE 誘致のための都市間競争が激しくなっています。

【課題】 産業や研究機関の集積という地域の強みを活かし、他都市との差別化をはかり、MICE 誘致の推進や開催支援の充実、国際展示場・国際会議場の整備拡充などを進め、MICE 開催地として選ばれる都市となるよう取り組んでいく必要があります。

◇ 国際会議の開催件数の推移（他都市比較）

(件)



出典：JNTO「国際会議統計」

施策を推進する事業

① 名古屋が誇る魅力資源の磨き上げと観光情報の発信

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
446 歴史観光の推進	名古屋の歴史的な魅力の掘り起こしや情報発信に継続的に取り組み、観光客の誘致及び都市ブランドの醸成をはかるため、信長、秀吉、家康などの武将を観光資源として磨き上げ発信するとともに、有松、桶狭間、大高地区の観光魅力向上や「名古屋おもてなし武将隊」を活用した観光PR等を実施	実施 ▶ 信長攻路桶狭間の戦い～人生大逆転街道～事業 ▶ 人生大出世夢街道事業 ▶ 有松・桶狭間・大高地区の観光魅力向上事業 ▶ 名古屋おもてなし武将隊を活用した名古屋城におけるおもてなしや、観光PR等の実施 ▶ 本丸御殿PR事業	実施	観光文化交流局
447 コスプレホストタウン等の推進	コスプレホストタウン宣言に基づき誰もがコスプレを楽しめるまちをめざすため、コスプレホストタウンPR隊による市民への啓発、受入機運醸成をはかるとともに、コスプレ・アニメの情報の集約・提供などを行うコスプレコンシェルジュを運営	コスプレホストタウンPR隊によるPR コスプレコンシェルジュの運営 研究会の開催 コスプレ撮影社会実験の実施	コスプレホストタウンPR隊によるPR コスプレコンシェルジュの運営 研究会の開催 市有施設等におけるコスプレ撮影開放の実施 コスプレ拠点エリアの創設	観光文化交流局

448 東山動植物園 の再生	名古屋のデスティネーションとして世界に誇れる東山動植物園をめざすため、展示、環境教育、種の保存、調査研究を強化推進	整備完了 ▶ アジアゾウエリア ▶ 北アメリカエリア 部分整備完了 ▶ アフリカの森エリア ▶ 日本産動物エリア ▶ 東山の森づくり 整備中 ▶ アジアの高地エリア ▶ 重要文化財温室前館の保存修理 ▶ にぎわいのある快適な園内空間	整備完了 ▶ 重要文化財温室前館の保存修理 ▶ 洋風庭園 部分整備完了 ▶ アジアの高地エリア ▶ アジアの熱帯雨林エリア ▶ 南アメリカエリア ▶ アフリカの森エリア ▶ ふれあい動物エリア ▶ 東山の森づくり 整備中 ▶ アフリカのサバンナエリア ▶ にぎわいのある快適な園内空間 希少動物の導入	緑政 土木局
449 科学館の運営	世界最大級のプラネタリウムドームや迫力ある大型展示等を備えた科学館について、学習施設であると同時にエンターテインメント性豊かな全国レベルの観光拠点として、魅力ある特別展の実施などにより近代科学に関する知識の普及啓発を実施	常設展・特別展等の開催 4 回 ノーベル賞受賞者顕彰施設の整備 ▶ 設計 B6 型蒸気機関車車両保管	常設展・特別展等の開催 ノーベル賞受賞者顕彰施設の供用開始（令和 2 年度） B6 型蒸気機関車動態展示	教育 委員会
450 芸術と科学の 杜事業	白川公園一帯において芸術と科学による新たな文化の創造により、きらめきを発信するまちの形成を推進するため、美術館・科学館、地元町内会・商店街、周辺の施設・専門学校などが連携し、イベント等を実施	サイエンス＆アートフェスティバルの実施 地元商店街等との連携イベントの実施	サイエンス＆アートフェスティバルの実施 地元商店街等との連携イベントの実施	教育 委員会

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
451 観光プロモーションの推進	観光都市としてのイメージ向上、名古屋ならではの観光資源のブランド化を推進するため、全国的に認知度が高いなごやめしをはじめとする名古屋の魅力を活かした PR を検討・実施	物産展などを活用した観光プロモーションの実施 県市連携プロモーションの実施 ▶ 首都圏 2 回 ▶ 関西圏 1 回 なごやめし普及促進事業 愛知県大型観光キャンペーンの実施	物産展などを活用した観光プロモーションの実施 県市連携プロモーションの実施 なごやめし普及促進事業 名古屋の魅力的な観光情報の発信 テレビ塔照明の LED 化	観光文化交流局
452 ドバイ国際博覧会への出展	愛知・名古屋の産業、文化及び伝統等の PR を実施するとともに、2026 年のアジア競技大会開催に向けた機運醸成を推進するため、ドバイ国際博覧会への催事参加を実施	—	催事参加を通じた愛知・名古屋の PR の実施（令和 2 年度）	総務局

② 受入環境の整備と海外からの誘客促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
453 観光案内の充実	観光客へのおもてなしを充実させるため、名古屋地域の玄関口である名古屋駅等において観光案内所を運営・強化するほか、民間事業者と連携し、まちなかでの観光情報の提供につとめるとともに、名古屋駅など主要地点において多言語表記の観光案内板を設置	観光案内所の運営 ▶ 名古屋市金山観光案内所 ▶ 名古屋市名古屋駅観光案内所 ▶ オアシス 21 i センター 観光案内板の整備 20 基 まちなか観光案内所の運営 316 か所	観光案内所の運営・機能強化 観光案内板の整備 150 基（5 か年） まちなか観光案内所の運営 316 か所	観光文化交流局

454 なごや観光ル ートバスの運 行	市内の公共交通機関に詳しくない 観光客に対し、市内観光の利便性向 上をはかるため、目的の観光施設ま で乗り換えることなく行くことが できる交通手段として運行	実施 ▶利用者数 392,416 人	実施 ▶名古屋城の東側に バス停新設	観光文化 交流局
455 トイレの洋式 化及び機能向 上	観光客をはじめ誰もが快適に利用 できるトイレを整備するため、観光 施設、地下鉄駅等のトイレを洋式化 及び機能向上させるための改修を 実施	実施 ▶対象トイレの洋式 化率 60%	実施	観光文化 交流局 教育 委員会 交通局
456 ラグジュアリ ーホテルの立 地促進	大規模な国際会議等の MICE 及び富 裕層旅行者の誘致につなげるため、 質の高い宿泊施設の立地促進施策 を実施	検討	実施	観光文化 交流局
457 市バス・地下鉄 のわかりやす い案内情報の 提供	市バスに不慣れな方も安心して利 用できるよう、ピクトグラムを活用 した乗換案内などが行える液晶式 停留所名表示器を市バスに設置す るとともに、地下鉄及び他社線の遅 延などの運行情報を誰にもわかり やすく提供するため、画像や多言語 で表示する大型モニターを、主要駅 の改札口付近等に設置	液晶式停留所名表示 器を設置した車両 52 両 地下鉄運行情報提供 大型モニター設置検 討	液晶式停留所名表示 器を設置した車両 全更新車両（5 か年） 地下鉄運行情報提供 大型モニター設置 3 駅（5 か年）	交通局
458 わかりやすく 利用しやすい 地下鉄券売機 の導入	国内外からの旅行者などが、安心し て地下鉄で移動できるようにする ため、観光スポットなどの検索によ り乗車券を購入できる機能などを 備えた券売機を主要駅に設置する とともに、訪日外国人の利便性向上 をはかるため、すべてのマナ力対応 の券売機について、英語に加え、中 国語、韓国語に対応した券売機に改 修	旅行者向け券売機の 設置 ▶検討 券売機の多言語化 ▶検討	旅行者向け券売機の 設置 ▶完了 3 駅（5 か年） 券売機の多言語化 ▶完了 全台（5 か年）	交通局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
459 海外からの観光客誘致の推進	海外からの観光客の誘致を促進するため、名古屋の観光魅力を活かしたプロモーション事業を実施するとともに、他自治体等と連携した広域観光を推進	海外からの観光客誘致に向けた観光プロモーション事業の実施 外航クルーズ船誘致事業の実施 他自治体等と連携したアジア及び欧米地域に向けた観光プロモーション事業等の実施	海外からの観光客誘致に向けた観光プロモーション事業の実施 外航クルーズ船誘致事業の実施 他自治体等と連携したアジア及び欧米地域に向けた観光プロモーション事業等の実施	観光文化交流局
460 ナイトタイムエコノミーの推進	観光客の滞在時間の拡大や消費拡大をはかるため、夜の観光コンテンツを充実させるなどナイトタイムエコノミー※を推進	検討	実施	観光文化交流局

③ MICEの推進による多様な交流の促進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
461 MICE の誘致推進	国内外の交流を促進し、経済の活性化をはじめ、都市の知名度やイメージの向上をはかるため、ものづくり産業の集積をはじめとする当地域の特色を活かし、全国的・国際的なコンベンション等 MICE の誘致、プロモーション、開催支援の充実、情報収集などを実施	実施 ▶ MICE 開催助成件数 5 件 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用者数 2,795,186 人 (平成 29 年度) ▶ 国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全施設平均 50.2% 国際会議場主要 3 ホール平均 80.8% (平成 29 年度)	実施 ▶ MICE 開催助成件数 22 件 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用者数 3,499,000 人 ▶ 国際展示場・国際会議場の利用率 国際展示場全施設平均 70% 国際会議場主要 3 ホール平均 85% G20 愛知・名古屋外務大臣会合開催支援 (令和元年度)	観光文化交流局

※ナイトタイムエコノミー：飲食店、演劇、ショー等、夜間におけるまちのにぎわいを活性化させ、消費活動を促すことにより経済的な活性化をはかること。

462 国際展示場の 運営・整備	MICE を推進するため、その基本インフラとなる国際展示場を管理・運営するとともに、拡大し多様化する MICE 活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施	国際展示場の運営 第 1 展示館の整備 ▶ 公募手続き ▶ 事業者決定 コンベンション施設の整備 ▶ 事業者公募準備 さらなる展示場拡張検討	国際展示場の運営 新第 1 展示館の供用開始（令和 4 年度） コンベンション施設の供用開始（令和 4 年度） さらなる展示場拡張整備の推進	観光文化交流局
463 国際会議場の 運営・整備	MICE を推進するため、その基本インフラとなる国際会議場を管理・運営するとともに、拡大し多様化する MICE 活動に対応し、激化する都市間競争に打ち勝つために要求される水準に対応する拡充・機能強化を実施	国際会議場の運営 屋根付歩廊の整備 大規模改修に向けた検討	国際会議場の運営 大規模改修等 ▶ 工事着手（令和 5 年度）	観光文化交流局

施策39 スポーツを活かしてまちの魅力と活力を高めます

施策の柱

① 第20回アジア競技大会をはじめとした大規模競技大会等の推進

令和8（2026）年の愛知・名古屋における第20回アジア競技大会の開催に向けた機運の醸成や、大会後の活用を見据えた競技施設・選手村の整備を進めるとともに、アジア競技大会の開催を通じて、スポーツの振興だけでなく、交流人口の拡大や国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化などの幅広い施策の推進をはかります。

また、国内外の大規模競技大会やスポーツイベントの誘致・開催により名古屋を盛り上げ、まちの活力向上をはかります。

② スポーツを活かした魅力の創出・発信

名古屋を拠点とするトップ・スポーツチームとの連携による「でらスポ名古屋※」や、大規模競技大会・スポーツイベントなどを活用したスポーツプロモーションにより、スポーツを新たな名古屋のブランドとして確立していくとともに、スポーツツーリズム※の促進などにより訪問客の増加をはかります。

成果指標

指 標	直 近 の 現 状 値	目 標 値 令和 5（2023） 年 度	目 標 値 令和 12（2030） 年 度
第 20 回アジア競技大会（愛知・名古屋開催）の市民認知度	31.8%	55%	100%
年 1 回以上プロスポーツ等を直接観戦する市民の割合	31.1%	35%	40%

関連する個別計画

◆名古屋魅力向上・発信戦略 ◆観光戦略 ◆第2期スポーツ推進計画

※でらスポ名古屋：市民のスポーツ振興のほか、都市魅力の向上や地域の活性化をはかる活動をするため、名古屋を拠点に活動している13のトップ・スポーツチームと名古屋市で設立した連絡協議会。

スポーツツーリズム：スポーツを「みる」「する」ための旅行そのものや周辺地域観光に加え、スポーツを「支える」人々との交流など、複合的で豊かな旅行スタイルの創造をめざすもの。



現状と課題

① (現状) 令和 8 (2026) 年に第 20 回アジア競技大会が愛知・名古屋で開催され、選手や大会関係者だけでなく国内外から多くの観客が訪れることが見込まれます。

また、全国的に、多数の観衆が見込める大規模な競技大会やスポーツ合宿、キャンプなどの誘致や、多数の参加者が見込めるスポーツイベントの開催などを通じた地域活性化の機運が高まっています。

【課題】 アジア競技大会の開催に向けて着実に準備を進めるとともに、機運の醸成をはかっていく必要があります。あわせて、アジア競技大会を一過性のスポーツイベントに終わらせるのではなく、交流人口の拡大や国際交流の促進、共生社会の実現、国際競争力の強化などさまざまな分野の発展につなげていく必要があります。

また、国内外の大規模競技大会やスポーツイベントなどの誘致・開催を通じた地域の活性化を推進していく必要があります。

◇ 第 18 回アジア競技大会 (ジャカルタ) の開会式



② (現状) 本市には野球やサッカー、バスケットボールといったプロリーグのほか、フットサルやハンドボールなど数多くの国内トップチームが本拠地を置いています。また、名古屋ウィメンズマラソンは、世界最大の女子マラソンとしてギネス世界記録に認定されています。

【課題】 本市の有する充実したスポーツコンテンツを都市のブランドとして最大限に活用し、スポーツを目的とした訪問客の増加に向けた取り組みなどを進めていく必要があります。

◇ 「みる」スポーツコンテンツ

1. 市内に本拠地を置くトップチーム (平成31年4月時点)	
アメリカンフットボール	名古屋サイクロンズ
サッカー	NGUラブリッジ名古屋 名古屋グランパス
バスケットボール	トヨタ自動車アンテロープス 豊通ファイティングイーグルス名古屋 名古屋ダイヤモンドドルフィンズ 三菱電機コアラーズ
バレーボール	大同特殊鋼レッドスター
ハンドボール	HC名古屋 大同特殊鋼フェニックス
フットサル	名古屋オーシャンズ
ホッケー	表示灯フラーテルホッケーチーム
野球	中日ドラゴンズ

2. 主な大規模競技大会等

定期開催	プロリーグホームゲーム（野球・サッカー・バスケットボール）
	マラソンフェスティバル　ナゴヤ・愛知
不定期開催	大相撲名古屋場所
	フィギュアスケート・グランプリファイナル
	バレーボール代表公式戦
	水泳選手権大会

3. 他都市比較（大規模競技大会等の開催状況（平成30年度））

都市	野球	サッカー	バスケットボール	マラソン※	大相撲
名古屋	○	○	○	○	○
札幌	○	○	○	○	
東京（23区）	○		○	○	○
横浜	○	○	○		
京都		○	○		
大阪	○	○	○	○	○
神戸		○			
福岡	○	○	○	○	○

※ マラソン大会は五輪代表選考レースとされているものに限る。

出典：名古屋市作成

施策を推進する事業

① 第20回アジア競技大会をはじめとした大規模競技大会等の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
464 第20回アジア 競技大会の推 進	スポーツの振興、交流人口の拡大、 国際交流の促進、共生社会の実現、 国際競争力の強化など幅広い施策 の推進につなげるため、関係機関と 調整を進め、第20回アジア競技大 会の開催に向けた取り組みを実施	組織委員会設立準備 各種計画検討 広報・PR実施 競技運営・会場調整 レガシーに関するビ ジョン検討	組織委員会運営 各種計画の検討・策定 広報・PR実施 競技運営・会場調整 「2026 アジア競技 大会 NAGOYA ビジ ョン」の策定・推進	総務局
465 第20回アジア 競技大会選手 村の整備及び 大会後の跡地 のまちづくり の検討	選手、役員が安心・安全・快適に滞 在できる生活環境を提供するため、 名古屋競馬場跡地に整備するメイ ン選手村の計画、整備を検討・推進 するとともに、将来を見据えたまち づくりが重要であるため大会後の 跡地のあり方について検討	選手村検討 選手村後利用検討	選手村整備の推進 選手村後利用事業の 検討	総務局
466 国際競技大会 等の誘致・開催	スポーツを通じて国内外に名古屋 の都市魅力を発信していくととも に、世界レベルのアスリートと市民 との交流をはかりスポーツに親し み・楽しむ機会を提供するため、関 係団体と連携協働し、世界規模のマ ラソンフェスティバルを開催する とともに、国際競技大会等の誘致を 推進	マラソンフェスティ バル ナゴヤ・愛知 の開催 国際競技大会等の誘致 ▶第1回アジアマス ターズ水泳選手権 大会の開催 ▶2018 女子世界選 手権（女子バレー ボール）の開催	マラソンフェスティ バル ナゴヤ・愛知 の開催 国際競技大会等の誘致 ▶ラグビーワールド カップ 2019 公認 チームキャンプの 受け入れ （令和元年度） ▶第76回国民体育 大会冬季大会（シ ョートトラック・ フィギュア）の開 催（令和元年度）	教育 委員会

467 瑞穂公園の整備	各種のスポーツ施設を備えた総合運動公園である瑞穂公園が、アジア競技大会のレガシーとして本市のスポーツ振興の拠点となるよう、体育館や陸上競技場をはじめとした施設整備を進めるとともに、市民の憩いの場や地域の防災拠点としての機能を視野に入れた公園全体の整備を推進	瑞穂公園全体計画の策定に向けた検討 瑞穂公園体育館の新築 ▶ 工事着手 陸上競技場の改築 ▶ 改築方法の検討	瑞穂公園全体計画の策定（令和元年度） 瑞穂公園体育館の新築 ▶ 供用開始（令和3年度） 陸上競技場の改築 ▶ 工事中	教育委員会
468 総合体育館の改修	ワールドクラスのスポーツ競技大会や各種の大規模イベントが開催される総合体育館において、選手や演者、観客などすべての利用者にとって快適な施設環境を整備するための改修を実施	観覧席改修工事着手 諸室内装等改修設計	観覧席改修工事完了（令和2年度） 諸室内装等改修工事完了（令和2年度）	教育委員会

② スポーツを活かした魅力の創出・発信

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
469 スポーツを活かした魅力の創出・発信	スポーツを通じて都市魅力を向上させるため、スポーツツーリズムを推進するとともに、パブリックビューイングの開催支援など、スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりを推進	実施 ▶ 大規模スポーツ大会来訪者への市内周遊観光促進事業の実施 ▶ スポーツにおける市中心部でのにぎわい創出のための社会実験の実施 ▶ 先進事例調査	実施 ▶ 大規模スポーツイベントの誘致・開催によるプロモーション効果の調査 ▶ スポーツを活用した市中心部でのにぎわいづくりの検討	観光文化交流局
470 東京オリンピック・パラリンピックホストタウン推進事業	スポーツを活かした名古屋の魅力を創出・発信するため、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のホストタウンとして、相手国であるカナダ、フランス、ウズベキスタンとの交流事業を産学官民が連携し実施	ウズベキスタン・ウィーク・イン・ジャパンの実施 カナダ車いすバスケットボール代表チームの事前キャンプ・市民との交流事業の実施	ホストタウン相手国との交流事業の実施 東京2020ホストタウン名古屋応援委員会による産学官民連携した機運醸成	観光文化交流局

施策40 地域の産業を育成・支援します

施策の柱

① 経営基盤安定化・経営力強化の支援

中小企業・組合などのニーズを把握し、社会経済環境の変化に対応した経営・技術相談や情報提供、事業承継の支援、融資の支援を行うとともに、設備投資に対する助成を実施するなど、経営基盤の安定化及び経営力の強化をはかります。

また、工業研究所を活用して技術課題の解決などを支援するとともに、市の調達において、公正性・競争性・透明性を踏まえ、地元企業の受注機会を確保します。

② 産業人材の育成・確保

大学の特色を活かした人材育成や、技術者育成のための研修などを実施するとともに、産業の未来を担う子どもたちに、ものづくりにふれる機会を提供するなど、産業人材の育成を支援します。また、中小企業の人材確保に向けて、状況に応じた相談を実施するとともに、女性や外国人など多様な人材の活躍を支援します。

③ 地域商業の活性化

名古屋大都市圏の中核都市として魅力ある商業地の形成を支援するとともに、地域と一体となった身近な商業地の育成支援を行うため、商店街の魅力向上等に資する事業に対する助成などを行います。

成果指標

指 標	直近の 現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
法人事業所数	101,090	109,500	124,900
設備投資の実施率	22.5%	24%	28%
人材育成に取り組んでいる企業の割合	38.4%	42%	47%

関連する個別計画

◆産業振興ビジョン2020 ◆第3期教育振興基本計画



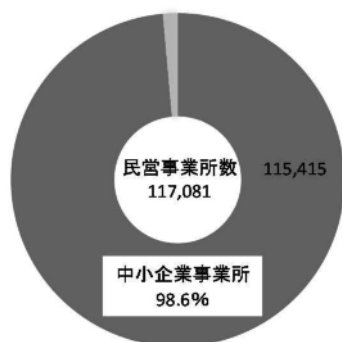
現状と課題

- ① **【現状】** 市内事業所数の約 99%を占めている中小企業は、当地域の雇用や経済を支えており、中小企業の多様な挑戦は、地域経済の成長・発展の原動力となっています。

景気が回復傾向にある一方で、中小企業の経済状況は依然として厳しいものとなっており、平成 30（2018）年下期の景況調査では、前年同期と比べた景況実感として「悪かった」が35.3%と、「良かった」の12.2%を上回っています。また、資金繰りが「苦しい」と回答した企業は26.8%であり、「楽である」の8.2%を上回っています。

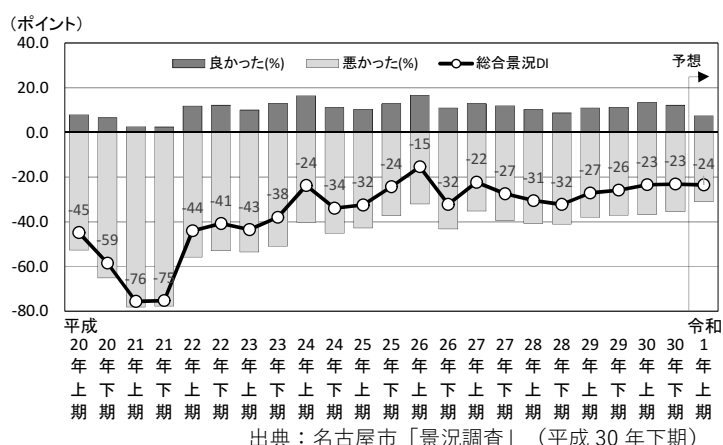
【課題】 社会経済環境の変化に対応しようとする意欲的な中小企業に対し、経営・技術面や事業承継などへの総合的な支援を行うとともに、厳しい経営環境に直面している中小企業に対し、金融面における支援など経営基盤の安定・強化を行う必要があります。

◇ 市内事業所数（従業者数の規模別）



出典：総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査結果」より名古屋市推計（平成 28 年度）

◇ 総合景況 DI※の推移



- ② **【現状】** 少子化・高齢化に伴う生産年齢人口の減少や熟練技術者の退職、若者のものづくり現場離れ等により、産業人材の確保は困難さを増しています。平成 30（2018）年下期の景況調査では、建設業においては 4 割以上、サービス業においては 2 割以上の企業が、経営上の問題点として人手不足を挙げています。

【課題】 産業人材の育成及び中小企業の人材確保をはかるため、技能職の後継者育成に向けた支援や、小・中学生の頃から産業に関心を持ってもらうきっかけづくり、多様な人材の活用促進などが求められています。

- ③ **【現状】** 地域の商店街を取り巻く環境は、購買機会の多様化、少子化・高齢化などの要因により、厳しい状況が続いています。

【課題】 多くの商店街では、後継者難や商店街を支える担い手不足の解消、魅力やにぎわいの創出などが課題となっており、これらの課題解決に向けた支援が求められています。

※DI：Diffusion Index の略。業況判断指数（社数構成比）のこと。計算式は以下のとおり。

DI = （「良い、増加、上昇、改善」と回答した企業の割合）－（「悪い、減少、下降、悪化」と回答した企業の割合）

施策を推進する事業

① 経営基盤安定化・経営力強化の支援

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
471 中小企業金融 対策	中小企業の経営基盤の安定や事業の多角化などを促進するため、社会的環境の変化に即した各種融資制度の拡充や信用保証制度の運用を通じた支援を実施	実施 ▶ 融資件数 5,156 件	実施	市民 経済局
472 中小企業振興 センターの運 営	中小企業の経営基盤の安定・強化をはかるため、法律及び金融分野に関する経営上の相談、経営管理や事業承継等に関する各種セミナーの開催及び中小企業経営に役立つ情報の提供等を実施	法律相談室の開設 192 コマ 金融相談の実施 196 件 セミナー開催件数 20 件	法律相談室の開設 金融相談の実施 セミナーの開催	市民 経済局
473 小規模企業の 経営力強化支 援	経営環境の厳しい小規模企業者の経営基盤の強化や経営改善をはかるため、新事業支援センターにおいて専門の相談窓口の開設、中小企業診断士等の専門家派遣を実施するとともに、設備投資に対して助成	補助金の交付 46 件 相談窓口の開設・専門家派遣の実施 ▶ 小規模企業アドバイザー訪問件数 286 件	補助金の交付 相談窓口の開設・専門家派遣の実施	市民 経済局
474 工業研究所に おける研究開 発と人材育成	中小製造業の新製品開発・品質向上のため、これらに関わる研究開発を行い、その成果に基づき受託研究や人材育成、提案公募型事業を実施するとともに、中小製造業の総合的な支援として、出向きます技術相談、共同研究、技術研修、AI*の導入支援などを実施	研究開発の実施 ▶ 研究開発件数 88 件 人材育成の実施 ▶ 研修の実施	研究開発の実施 ▶ 研究開発件数 455 件 (5 か年) 人材育成の実施 ▶ 研修の実施 画像解析技術の導入支援 ▶ 支援設備の整備	市民 経済局

※AI：Artificial Intelligence の略。人工知能。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。

475 工業研究所における技術指導・試験分析と施設管理	中小製造業が抱える課題を解決するため、工業研究所で行った研究成果などを踏まえ、中小製造業に対する技術相談・指導や各種の依頼試験・分析などを実施するとともに、技術の普及を目的とした、講演・講習会の開催、施設の貸出などを実施	実施 ▶ 技術相談・指導件数 24,761 件 ▶ 依頼試験・分析件数 34,441 件 ▶ 講演・講習会開催件数 42 件 ▶ 会議室等の貸出件数 797 件	実施 ▶ 技術相談・指導件数 109,360 件（5 か年） ▶ 依頼試験・分析件数 145,805 件（5 か年） ▶ 講演・講習会開催件数 185 件（5 か年） ▶ 会議室等の貸出件数 3,385 件（5 か年）	市民 経済局
--------------------------------	--	--	---	-----------

② 産業人材の育成・確保

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
476 市立大学と名古屋工業大学との連携による人材の育成	高度な専門性と複数の学問分野からの視点を備えた人材を育成するため、名古屋工業大学と連携し事業を実施	単位互換制度の運用 共同大学院の運営	単位互換制度の運用 共同大学院の充実	総務局
477 中小企業の人材確保支援	中小企業における人材確保を支援するため、企業向けの人材確保に関する相談の実施、女性や外国人を含む多様な人材の活躍に向けたセミナーなどを開催するほか、働き方改革関連法への対応など中小企業における働き方改革を促進	検討	人材確保相談窓口の設置・運営 セミナーの開催 中小企業の働き方改革の促進 外国人材の雇用に向けた調査・支援の実施	市民 経済局
478 東京圏からの人材確保の推進	東京圏からの UIJ ターン※の促進や、中小企業等の人手不足対策を進めるため、東京圏から本市に移住し、起業または対象の中小企業等への就業をした人に対し、移住に要する費用の支援を実施	検討	移住費用の支援	市民 経済局

※UIJ ターン：大都市圏の居住者が地方に移住する動きの総称のこと。U ターンは出身地に戻る形態、J ターンは出身地の近くの地方都市に移住する形態、I ターンは出身地以外の地方へ移住する形態をさす。

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
479 ものづくり人材の技術・技能の向上支援	ものづくり産業の人材確保、技能継承教育の推進、中小企業の技術開発力の強化と技術系人材の育成のため、中小企業技術者研修及び中小企業技能者育成講座を実施するなど、ものづくり人材の技術・技能の向上を支援	実施 ▶ 中小企業技術者研修数 10 件 ▶ 中小企業技能者育成講座数 3 件	実施	市民 経済局
480 この道ひとすじ尾張名古屋の職人展	職人の技を広く市民に紹介し、ものづくりの素晴らしさを伝えるとともに技能職者相互の連携を深め、技術水準の向上をはかることにより、次世代を担う産業人材の確保に資するため、関係団体と連携し尾張名古屋の職人展を開催	実施 ▶ 来場者数 158,000 人 ▶ 出展者数 53 団体	実施	市民 経済局
481 少年少女発明クラブの運営	ものづくり産業の人材育成をはかるため、小・中学生を対象にものづくり教室など創作活動の場を提供する名古屋少年少女発明クラブを運営し、ロボカップジュニアへの参加、ものづくりチャレンジ教室を実施	実施 ▶ 工作・プログラミング教室開催数 15 件 ▶ ロボカップジュニアへの参加	実施	市民 経済局
482 キャリア教育の推進	子どもの針路を応援し、社会で活躍できる人材を育成するため、小中学校では9年間を通した系統的なカリキュラムを策定し、実施するとともに、高校では就業体験学習等、大学・企業等と連携した取り組みを実施	小・中学校のキャリア教育のカリキュラム検討 高校における就業体験学習等、大学・企業等と連携した取り組みの実施	小・中学校のキャリア教育のカリキュラム策定 ▶ 小学校（令和元年度） ▶ 中学校（令和2年度） 高校における就業体験学習等、大学・企業等と連携した取り組みの実施	教育 委員会

③ 地域商業の活性化

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
483 地域商業地の 活性化・整備促 進	地域商業地の活性化をはかるため、 商店街の魅力向上等に資する事業 への助成のほか、人材育成・事業承 継・商業機能の再生等の支援、街路 灯等の共同施設の維持管理への助 成等を実施	実施 ▶ 商店街の魅力向上 等に資する事業へ の助成 ▶ 事業承継の支援 ▶ 商店街街路灯の LED 化率 80% (平成 29 年度)	実施 ▶ 商店街の魅力向上 等に資する事業へ の助成 ▶ 事業承継の支援 ▶ 商店街街路灯の LED 化率 85%	市民 経済局

施策4 1 新たな価値を創造する産業を振興するとともに、産業交流を促進します

施策の柱

① イノベーション創出・創業等支援

経済団体等との連携によりイノベーション※拠点を設置・運営し、イノベーション活動の促進やスタートアップ支援をはかるとともに、大学、専門学校等と連携して新たな付加価値を生み出す人材の育成を促進します。また、産学官連携を推進し、将来の産業力強化につなげます。

② 価値づくり産業の振興

新たな価値を創造する取り組みを促進するため、デザイン、ファッション、コンテンツ、伝統産業などのクリエイティブ産業を強化するとともに、IoT※・AI※・ロボット等の先端技術の導入・活用を促進します。

③ 成長産業の振興

航空宇宙産業をはじめ、医療・福祉・健康、環境・エネルギーなどの今後の成長が期待される分野において多様な主体と連携し、産業の振興をはかります。

④ 産業交流の場づくりと戦略的な企業誘致の推進

産業見本市の誘致・開催や、中小企業の国内外での販路開拓などを支援し、関連支援機関と協力しながら、産業競争力の強化をはかるとともに、戦略的な企業誘致やICT※企業等の交流・投資の促進により、企業の集積をはかります。

成果指標

指 標	直近の現状値	目標値 令和5(2023) 年度	目標値 令和12(2030) 年度
昼間就業者1人当たり市内総生産	8,796 千円 (平成28年度)	9,700 千円 (令和3年度)	11,000 千円 (令和10年度)
イノベーション創出件数※	178 件 (平成29年度)	980 件 (5 か年)	2,380 件 (12 か年)
法人設立等件数	5,188 件 (平成29年度)	5,700 件	6,500 件
企業誘致件数	16 件	75 件 (5 か年)	180 件 (12 か年)

関連する個別計画

◆産業振興ビジョン2020

※イノベーション：技術革新。新機軸。経済成長の原動力となる革新。

IoT：Internet of Things の略。モノのインターネット。コンピュータなどの情報・通信機器だけでなく、世の中に存在するさまざまな物体（モノ）に通信機能を持たせ、インターネットに接続したり相互に通信したりすることにより、自動認識や自動制御、遠隔計測などを行うこと。



現状と課題

- ① **【現状】** 名古屋大都市圏には、ものづくりを進化させてきた経験や技能を有する企業や人材をはじめとする多様な産業資源が集積しています。一方で、本市の開業率は6.6%（平成28（2016）年度）となっており、平成22（2010）年度以降増加傾向にあるものの、欧米諸国と比較して低い水準で推移しています。

【課題】 圏域の経済を持続的に発展させるため、新たな価値を生み出す起業家が育つ環境づくりに取り組むとともに、多様な主体の連携や人材育成を促進し、イノベーションの創出を支援することが必要です。

- ② **【現状】** 技術の進歩や、消費者のこだわり・価値観の多様化が進む中で、新たなビジネスモデルの構築が重要となっています。

【課題】 クリエイティブ分野やIoT、AI、ロボットの活用など、企業が新たな価値を付加しようとする取り組みを支援することが必要です。

- ③ **【現状】** 世界的な成長が見込まれる航空宇宙産業において、中部地域は日本の航空機・部品の生産額の約5割を占めるなど随一の拠点となっています。

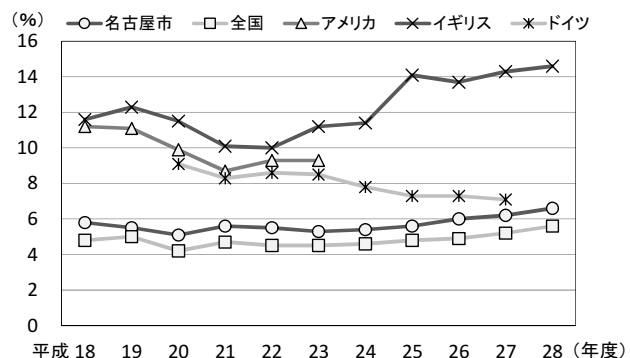
また、高齢化の進行などに伴い、医療機器の世界市場はさらなる拡大が見込まれます。

【課題】 都市間競争が激化する中、経済の持続的な発展のためには今後の成長が期待される産業の育成が必要です。

- ④ **【現状】** 本市は名古屋大都市圏の中核都市として産業交流の拠点となっており、ものづくり産業や商業・サービス産業など多様な産業が集積しています。

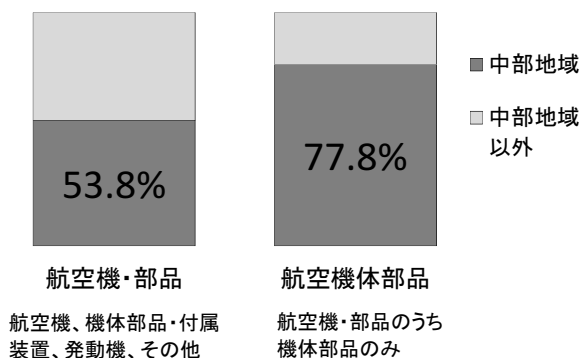
【課題】 産業見本市の開催などにより多様な産業交流の場づくりを進めるとともに、さらなる産業集積を促進するため、本社機能やICT企業などの戦略的な誘致を進める必要があります。

◇ 開業率の推移（国際比較）



出典：名古屋市、日本＝厚生労働省「雇用保険事業年報」
 アメリカ＝U.S. Small Business Administration
 「The Small Business Economy」
 イギリス＝Office for National Statistics
 「Business Demography」
 ドイツ＝Statistisches Bundesamt
 「Unternehmensgründungen, -schließungen: Deutschland, Jahre, Rechtsform, Wirtschaftszweige」

◇ 中部地域（愛知県、岐阜県、三重県、富山県、石川県）の航空機・部品の生産高全国シェア



出典：経済産業省中部経済産業局「管内生産動態統計集計結果」（平成29年）より名古屋市作成

※AI：Artificial Intelligence の略。人工知能。言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピュータに行わせる技術。

ICT：Information and Communication Technology の略。情報・通信に関する技術の総称。

イノベーション創出件数：本市の施策により新商品等の開発や創業が行われた件数を対象とする。

施策を推進する事業

① イノベーション創出・創業等支援

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
484 イノベーション戦略の強化・推進	名古屋大都市圏の経済のさらなる発展をめざし、イノベーション活動のグローバル展開など企業の新たな価値の創造を促進するため、経済団体等との連携により企業の交流・共創を促すイノベーション拠点を設置・運営するとともに、戦略推進プランの策定や推進体制の構築、次世代の産業人材向けの教育、中小企業向けの支援事業等の調査・検討を実施	検討	イノベーション拠点の設置（令和元年度）・運営 調査・検討の実施	市民経済局
485 中小企業のイノベーション創出支援	女性の創業や ICT を活用した新商品・新サービスの創出を支援するため、研究会やセミナー等の開催及び販路拡大のための支援を実施	検討	実施 ▶ 研究会等の開催 ▶ 展示会への出展	市民経済局
486 創業等支援事業	創業を促進し、市内中小企業の活性化をはかるため、成長が見込まれる企業の創業時などに要する経費に対して助成するとともに、創業時の各段階に応じた総合的な支援を実施するほか、名古屋ビジネスインキュベータ、クリエイションコア名古屋及び旧那古野小学校に設置されるインキュベーション施設等に入居する企業に対し助成を実施	スタートアップ企業支援助成 31 件 （平成 30 年度末見込） 相談事業の実施 ▶ プロジェクトマネージャー等の設置 5 件 インキュベーション施設入居企業への助成 34 件 （平成 30 年度末見込）	スタートアップ企業支援助成 相談事業の実施 ▶ プロジェクトマネージャー等の設置 インキュベーション施設入居企業への助成	市民経済局
487 デザインイノベーションの促進	中小企業のイノベーションを担うクリエイティブな人材を育成するため、大学等と連携したワークショップなどを実施	検討	人材育成ワークショップの実施	市民経済局
488 市立大学の知的財産を活かした産学官連携の推進	革新的な医薬品や医療機器などを創出するため、研究環境を整備するとともに、医学・薬学・工学分野等における産学官連携を推進	産学官連携を推進するための体制の整備	産学官連携を推進するための体制の拡充	総務局

② 価値づくり産業の振興

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
489 IoT・AI・ロボット等の活用促進	IoT や AI、ロボットの導入を促進し、当地域の企業の生産性向上をはかるため、AI 等の普及を促進するほか、IoT やロボット導入に関する企業からの相談対応、導入を支援する専門人材の育成等を実施	専門人材育成講座の実施 3 講座 AI 活用の調査研究	ICT 技術に関する相談、導入支援等 AI 等の普及促進 ロボカップジュニア・ジャパンオープンの誘致	市民経済局
490 デザイン施策の推進	産業デザインを振興するため、商品の試験販売や活動紹介を行うことができる場所の提供などクリエイターの創業等を支援するとともに、中小企業のデザインを活用した新商品開発等を支援	クリエイターへの支援の実施 デザインを活用した中小企業への支援の実施 ▶ アドバイス・派遣社数 7 社	クリエイターへの支援の実施 デザインを活用した中小企業への支援の実施 ▶ アドバイス・派遣社数 7 社	市民経済局
491 ファッション産業の振興	当地域のファッション風土づくりを推進し、デザイナーなどの優秀な人材の発掘と関係業界の振興をはかるため、ファッション情報の収集・提供、ナゴヤファッションコンテストの開催による人材育成等を実施	実施 ▶ ナゴヤファッションコンテスト応募点数 4,528 点	実施 ▶ ナゴヤファッションコンテスト応募点数 23,000 点 (5 か年)	市民経済局
492 伝統的地場産業の振興	伝統的地場産業の振興をはかるため、若手技術者の育成や、新商品を開発する事業及び伝統産業を PR するための事業への助成を実施	実施 ▶ 若手技術者育成事業助成件数 7 件 ▶ 新商品開発事業件数 2 件	実施 ▶ 若手技術者育成事業助成件数 9 件 ▶ 新商品開発事業件数 3 件	市民経済局

③ 成長産業の振興

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
493 航空宇宙産業の振興	航空宇宙産業における中小企業の販路拡大や生産増等を支援するため、機械設備等の購入経費の一部助成や展示会等を活用した販路拡大支援を行うほか、セミナー等を実施し、将来の航空宇宙産業を担う人材を創出	設備投資への助成 ▶ 助成件数 2 件 販路拡大への支援 ▶ 出展支援展示会数 2 件 人材育成の実施	設備投資への助成 販路拡大への支援 人材育成の実施	市民経済局

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
494 医療・福祉・健康産業の振興	当地域が誇る高度なものづくり技術を活かし、今後成長が見込まれる医療・福祉・健康産業の活性化や革新的な医療介護福祉機器等の開発を促すため、産学官の連携により、情報提供や研究開発、販路開拓等の支援を実施し、企業の当該産業分野への参入等を促進	実施 ▶ 研究会・講演会の開催 4 件	実施	市民経済局
495 なごやサイエンスパーク事業	当地域のものづくり産業を支える研究開発拠点の形成、産学官が連携する研究開発等の推進による地域の持続的な発展をめざすため、公的研究機関などが集積する A ゾーン、医療・福祉・健康産業の振興等をはかる B ゾーン（なごやライフバレー）、民間の研究開発施設などが集積する C ゾーン（テクノヒル名古屋）の運営等の事業を推進	なごやサイエンスパークの管理運営 なごやライフバレーの整備・立地促進	なごやサイエンスパークの管理運営 なごやライフバレーの整備・立地促進	市民経済局

④ 産業交流の場づくりと戦略的な企業誘致の推進

事業名	事業概要	現況	計画目標	所管局
496 ICT 企業交流・投資の促進	ものづくり技術に新たな価値を付加する ICT 企業等の交流や投資を促進するため、ビジネス交流・投資イベント等を開催	実施 ▶ 共創イベント参加者数 52 人 ▶ 人材育成プログラム参加者数 20 人 ▶ プレゼンテーションイベント参加者数 188 人	実施	市民経済局
497 産業見本市・展示会の開催	当地域におけるビジネスチャンスの拡大をはかるため、業種・業態の枠を超え、各出展者の製品やサービスを国内外に広く情報発信し、産業交流をはかる各種産業見本市・展示会を開催	実施 ▶ メッセナゴヤ等の開催	実施	市民経済局

498 中小企業振興 会館の運営	中小企業の競争力の強化をはかるため、展示会・集会・研修会場と中小企業の各種相談窓口機関を併設する中小企業振興会館を管理運営し、見本市・展示会の誘致開催などにより見本市等への参加促進や販路開拓を支援	運営	運営	市民 経済局
499 地域経済の国 際化の促進	地域経済の一層の活性化をはかるため、対日投資に関心のある海外企業に本市への進出をはたらきかけるなど外資系企業誘致を推進するほか、市内企業の海外販路開拓や販路拡大、海外進出を支援	実施 ▶ 外資系企業誘致件数 8 社 ▶ 海外事業展開支援 社数 13 社	実施	市民 経済局
500 産業立地の促進	企業立地を促進し、市内産業の空洞化への対応や地域経済の一層の活性化をはかるため、市内に新たにオフィス、工場、研究施設を開設する企業にその経費の一部を助成するとともに、ICT 企業や本社機能などに対し重点的な誘致を実施	補助金の交付 ▶ 交付件数 29 件 (うち新規交付 件数 11 件) 戦略的な企業誘致 ▶ 外資系企業、ICT 企業の集積促進	補助金の交付 戦略的な企業誘致 ▶ 外資系企業、ICT 企業、本社機能な どの集積促進	市民 経済局
501 シティセール ス事業	企業立地を促進し、産業競争力の強化をはかるため、パンフレットやホームページ等の広報媒体を利用して、当地域のすぐれた投資環境等を広く国内外に紹介するとともに、本市の魅力の PR 及び効果的な企業誘致を実施	PR の実施 海外展開・誘致推進 専門員の配置	PR の実施 海外展開・誘致推進 専門員の配置	市民 経済局